

**【施策評価調査】**

施策名	5-3-3	生涯学習情報システムの構築		120	施策目的 生涯学習は、町民一人ひとりが自発的な意思により、自己の充実、啓蒙や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を利用し、自分に適した手段、方法を選択し、一生涯をとおして行うものです。その実現に向け、様々な自然体験、社会体験、交流活動の機会を充実させる施策を実施するとともに、利活用面において日々進化しているインターネット技術等を媒介として、情報の検索、施設の予約等の環境を整備することにより、「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」学習に取り組める施策を展開します。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部 生涯学習課	担当 リーダー	社会教育担当 横塚恵子		
環境変化	近年、インターネットや携帯電話等、通信情報技術の普及・浸透が特に目覚ましい。				インターネットや携帯電話等を活用して生涯学習情報システムを構築し、生涯学習情報の充実、施設予約や料金支払いの省力化などを実現し、参加したい講座や教室を容易に受講できる仕組みを整えます。導入計画は、平成18年度協議、平成19年度にはソフトを開発し、平成20年度に導入します。（「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：生涯学習情報システムの構築進捗率(%)	平成16年度	計画	30%	60%	100%		
		実績	0%	20%	100%		
指標：申請件数(件)	平成16年度	計画			300件	800件	1,000件
		実績	0件		471件		
指標：		計画					
指標：		実績					
指標に関する特記事項	の471件は登録件数です。						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	200,000	0	4,440,000		
	決算	415,800	0	3,410,261		

**事務事業事前評価 22年度の組立て**

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)

**施策事前評価 22年度の組立て**

後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
自己評価	<p>今後の方向性</p> <p>平成20年9月に本稼働以来、減免団体等の一部の利用者を除いて定着してきています。利用が浸透していない「減免団体」への操作方法・周知を行い、いつでも施設予約や講座申込みができるよう利用推進を図ります。また、システムを引き続き検証し、利用者ばかりでなく、システム管理者にとっても利用しやすいシステム環境を整えていきます。</p>	
総合評価	<p>具体的な事業が終了となり、当施策は廃止となるが、システムを構築したことによる、成果については、引き続き検証し利用促進に向けた取組みなど、運用に関する事務は行うこと。</p>	